

東映集団時代劇の世界



シネマ自由区オールナイト

7月31日(土)

東映集団時代劇リスト

及：関連作品 [作製=土]

※作品名中、く>は集団時代劇に何らかの影響を与えたもの。()は意味不明の集団時代劇。《 》は、そこから派生した作品。

年度	作品名(★=カラー)	監督
54	く七人の侍>(東宝)	黒沢 明
61	く柳生武芸帖>	井沢 雅彦
	く用心棒>(東宝)	黒沢 明
62	く椿三十郎>(東宝)	黒沢 明
	く柳生武芸帖 独眼一刀流>	松村昌治
	く忍びの者>(大映)	山本薩夫
63	(柳生武芸帖 片目の十兵衛)	内出好吉
	★(忍術秘帖 霧の城)	工藤栄一
	(柳生武芸帖 片目水月剣)	長谷川 安
	(江戸忍法帖 七つの影)	倉田 準二
	十七人の忍者	長谷川 安
	く伊賀の影丸>	小野 登
	柳生武芸帖 剣豪乱れ雲	内出好吉
	くおれは侍だ 命を賭ける三人>	沢島 忠
	十三人の刺客	工藤栄一
	(月影忍法帖 二十一の眼)	倉田 準二
	柳生武芸帖 片目の忍者	松村昌治
64	《隠密剣士》	船山 定男
	(第三の忍者)	河野寿一
	《江戸犯罪帖 黒い爪》	山下 耕作
	大 殺 陣	工藤栄一
	忍者 狩り	山内 鉄也
	集団 奉 行 所 破 り	長谷川 安
	《続 隠密剣士》	船山 定男
	★《大 喧嘩》	山下 耕作
	★《くノ一忍法》	中島 貞夫
	《幕末残酷物語》	加藤 泰
	十兵衛暗殺剣	倉田 準二
	★《くノ一化粧》	中島 貞夫
65	(忍法忠臣蔵)	長谷川 安
	★《天保遊侠伝 代官所破り》	山内 鉄也
	(隠密侍危機一髪)	山下 耕作
66	十七人の忍者 大血戦	鳥居 元宏
67	十一人の侍	工藤栄一
68	★《忍びの世》	鈴木 則文
69	★《五人の黄金探偵》	工藤栄一
	…… そして… 73《仁義なき戦い》	
	…… 76. 浪人街	へ

東映集団時代劇史

「集団時代劇」というジャンルは、必ずしも会社の路線として明確に打ち出されて来たものではない。ただ、常にプログラム・ピクチャーの主流として新しい路線を次々と開拓して来た東映が、一時全盛だったお子孫時代劇の退潮期(同時に日本映画界の斜陽化傾向)に際し、さまざまな方向を模索する中で、その混沌の中から単発的に登場して来たにすぎない。

そのヒントとなったのは、左の表でもわかる様に、一連の黒沢時代劇であり、導火線となったのは、山田風太郎の剣道小説「白土三平」の映画化による忍術ブームである。そして、村山知義の小説を映画化した、大映の「忍びの者」がヒットした事が決定的要因となった。翌年より東映京都撮影所は、一連のリアリズム忍術映画を次々と製作する様になるのである。

しかし、東映チャンバラ映画の主流は、あい変わらず白めり、のスター連による勧善懲悪劇であり、これら忍術ものはモノクロ・ノースターによる、マイナーピクチャーの地味な存在であった。

位に甘んじなければならなかった。集団時代劇とは文字通り、二線級俳優を束でまとめて売るといった苦肉の策に他ならなかったのである。監督も必然的に若手、新人連にまかせる事になったが、これが図らずも、ダイナミックで生き生きとしたアクション時代劇の傑作を次々と生む事となり、言わば、東映又一パルバールとも言うべき新しいジャンルが誕生したのである。工藤栄一、山内鉄也、長谷川安人、倉田準二といった作家たちが、ここから抬頭した。

分類的には、忍者の登場し、浪人街は果して集団時代劇のメルクマールとなるか？

月影忍法帖 二十一人の眼

63年 東映京都映画

企画 小倉浩一郎
原作 山田風太郎
脚色 結城信二
監督 伊藤武夫
音楽 伊藤武夫
美術 大門恒夫
照明 井上義一
録音 藤本尚武
編集 スチール 佐野秀雄
配役 神田 忠男
檀新兵衛 松方 弘樹
徳川吉宗 里見浩太郎
伊集院頼母 近衛十四郎
寺西弥九郎 中谷 一郎
お健 北条きく子
松平左近将監 三島ゆり子
坂井準人正 小畑 明男
太田内膳正 村居京之輔
秋月 神木真希雄
奥田 唐沢 民賢
浅野 大里健太郎
城ヶ崎 大山 洋一
伊奈 春川 純
山屋 木谷 邦臣
大山源兵衛 矢奈木邦二
相良格左衛門 河村 清和
三田村兵馬 南方 英二
三次 清村 耕次
伊藤勘左衛門 有馬 宏治
竜斎 植村謙二郎
嘉門 大邦 一公
伯典 徳 恵一
梵天丸 津村 清
左司馬 五里兵太郎
慶次郎 伊藤 克郎
【解説】山田風太郎原作、忍若月影抄より、「雲の剣・風の剣」の結東信二と「霧の都の赤い花」の森田新が共同で脚色、「江戸忍法帖」の影の倉田準二が監督した忍者の。撮影は「おれは侍だ、戦場を駆ける三人」の伊藤武夫。(東映スコープ)



「二十一人の眼」の一場面

十三人の刺客

63年 東映京都映画

企画 玉木潤一郎
脚本 天尾 完次
監督 池上 金男
撮影 工藤 栄一
音楽 鈴木 重平
美術 伊藤 昭昭
照明 井川 徳道
録音 増田 悦章
編集 スチール 小倉 九郎
配役 宮本信太郎
島田新左衛門 片岡千恵蔵
島田新六郎 里見浩太郎
倉永左平太 嵐 寛寿郎
平山九十郎 西村 晃
三橋次郎 阿部九州男
木賀小太夫 山城 新伍
佐原平蔵 水島道太郎
堀口源内 加賀 邦男
堀井秀八 沙路 章
小倉庄次郎 沢村精四郎
日置八十吉 春日 俊二
大竹茂助 片岡栄二
石塚利平 和崎 俊也
おえん 丘 さとみ
加代 藤 純子
牧野千世 河原崎長一
牧野安女 三島ゆり子
関宮園香 高松錦之助
関宮小波 神木真希雄
関宮小浪 高橋 進
浅川十太夫 原田甲子郎
松平左兵衛 菅 賢太郎
丹羽半人 北 竜二
小泉頼母 堀 正夫
大野多伸 堀 正夫
出口源四郎 有川 正治
仙田角馬 小田部道磨
老中人 香川 良介
語り手 土井大次郎 丹波 哲郎
【解説】「十七人の忍者」の池上金男がオリジナル・シナリオを執筆、「若様やくざ江戸っ子天狗」の工藤栄一が監督した時代劇。撮影もコンビの鈴木重平。(東映スコープ)

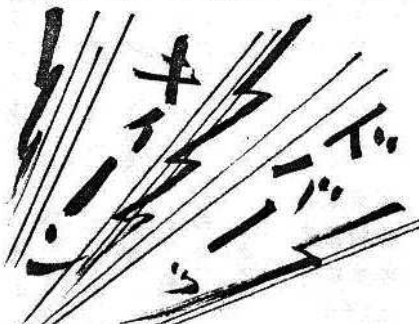


嵐寛寿郎(左)と片岡千恵蔵

忍 者 狩 り

64年 東映京都映画

企画 森 義雄
脚本 高田 宏治
監督 山内 鉄也
撮影 赤塚 滋
音楽 津島 利章
美術 中川 徳道
照明 金子 凱美
録音 加藤 正行
編集 スチール 宮坂 健二
配役 近衛十四郎
和倉五郎左衛門 佐藤 慶
永長八右衛門 山城 新伍
寛新藏 河原崎長一
天野弥次郎 田村 高広
会沢士佐 村山 聡
丸目泰次郎 高松錦之助
原刑部 沢村宗之助
鶴江 遠山金次郎
空谷 河村 清和
藤村宮内 佐藤 洋
久坂権之進 尾形伸之介
鬼頭一角 唐沢 民賢
美保 北条きく子
美生忠知 沢村 和子
篠方 関根水二郎
種丸 園 千雅子
種九 藤山 直子
りつ 松風はる恵
晋松 山田 裕三
養安院法眼 源 八郎
立花主水正 片桐 真
久世大和守 安部 徹
松平和泉守 村居京之輔
板倉内膳正 那須伸太郎
谷河内守 加賀 邦男
関の蔵人 天津 敏
白藤尼 高森 和子
天清屋 中村 錦司
空木源三 潮路 章
赤蛙 徳 恵一
小幡式部 国 一太郎
【解説】「江戸犯罪帖・黒い爪」の高田宏治のオリジナル・シナリオを新人山内鉄也が監督した忍者の。撮影は赤塚滋。(東映スコープ)



隠密侍危機一発

65年 東映京都映画

企画 松平 義道
脚本 田坂 啓
監督 山下 耕作
撮影 鈴木 重平
音楽 津島 利章
美術 塚本 隆治
照明 井上 孝二
録音 加藤 正行
編集 スチール 中山 健二
配役 神田 忠男
秋月慎次郎 丹波 哲郎
佐倉徹之介 内田 良平
菊 藤 純子
矢吹玄四郎 河原崎長一
ゆき 桜町 弘子
津島修理 二本柳 寛
水野備中守 大友柳太朗
平田主計 有馬 宏治
内膳刑部 内田 朝雄
宮下勘太夫 矢奈木邦二
星野主馬 那須伸太郎
岡島半蔵 相原 昇
本庄弥八 藤 純子
田所七之丞 波多野 暲
大村惣兵衛 河村 清和
小林源八郎 原 京市
越水市之進 脇中 昭夫
中西数馬 佐藤 忠和
山岡左源太 五十嵐 弘
野村嘉衛 加川 圭三
三枝又七 前川 良二
島小左衛門 大木 悟郎
甲田勘助 江本 健二
戸口庄兵衛 阿波地 大輔
田 鶴 風 倫子
内膳伊織 富家 賢次
諏訪豊後守 原 健策
山川采女 熊谷 守
老儀松助 源 八郎
腰元 岡田 千代
番太① 畑中 伶一
同 ② 平沢 彰
【解説】「コレラの城」の田坂啓がオリジナル・シナリオを執筆、「江戸犯罪帖黒い爪」の山下耕作が監督した。撮影は「蝶々雄二の夫婦善哉」の鈴木重平。(東映スコープ)



丹波哲郎(左)と大友柳太朗

十一人の侍

67年 東映京都映画

企画 岡田 茂
脚本 天尾 完次
監督 田坂 啓
撮影 国弘 威雄
音楽 鈴木 則文
美術 工藤 栄一
照明 吉田 貞次
録音 塚本 隆治
編集 スチール 井上 孝一
配役 神田 忠男
仙石半人 夏八木 勲
三田村健四郎 里見浩太郎
久河勝左衛門 有川 正治
荒金五郎兵衛 岩尾 正隆
保科久之進 青木 義朗
保科半之助 林 真一郎
足立源蔵 五十嵐 弘
市橋次郎 沙路 章
藤堂幾馬 唐沢 民賢
果い 大川 栄子
井戸大十郎 西村 晃
神原半刀 南原 宏治
江 宮園 純子
伊奈勘之助 近藤 正臣
阿部豊後守正由 徳高 稔
秋吉利郎 大友柳太朗
松平西厚 菅 賢太郎
水野越前守 戸田 伸介
来島伝八郎 中村 錦司
魚住新之丞 小田部通磨
森河源内 源 八郎
深谷半兵衛 池田 謙治
大岡主膳 佐藤 京一
松平和泉守 那須伸太郎
太田備後守 村居京之輔
脇坂中務大輔 矢奈木邦二
芸者 小島 恵子
【解説】「牙狼之介」の田坂啓、「神火101殺しの用心棒」の国弘威雄、「兄弟仁義」の鈴木則文が共同でシナリオを執筆し、「女犯破戒」の工藤栄一が監督したアクション時代劇。撮影は「牙狼之介」の吉田貞次。(東映スコープ)



夏八木勲

ガン道シネマ



ギョウザン